

(明治三十三年) 五月八日 第三種郵便物認可 (毎月四日十四日廿四日三回發行)

縣報

第貳拾壹號

明治三十三年十一月四日

和歌山縣

縣令

○和歌山縣令第七十九號

明治三十三年七月和歌山縣令第五十六號ハ廢止ス

明治三十三年十月二十四日

和歌山縣知事

小倉

久

和歌山縣令第七十九號參照

明治三十三年七月和歌山縣令第五十六號ハ獸醫ニシテ乳牛治療上牛乳中ニ移行スヘキ毒

藥劇藥ヲ服用セシメタルトキ通知方ノ件

○和歌山縣令第八十號

本年十月縣令第七十七號廢止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十三年十月二十五日

和歌山縣知事

小倉

久

和歌山縣令第八十號參照

明治三十三年十月和歌山縣令第七十七號ハ炭疽熱發生ニ付牛馬羊豚ノ出入往來停止ノ件

告示

○和歌山縣告示第百九十四號

縣報第貳拾壹號

明治三十三年十一月四日

明治三十三年^三和歌山縣告示第七十三號中和歌山縣金庫監獄署支金庫ハ本年十一月十五日限リ廢止ス

明治三十三年十月廿三日

和歌山縣知事

小倉

久

○和歌山縣告示第九十五號

左記ノ者肩書ノ地ニ轉居シタルニ依リ和歌山縣產婆名簿ヲ訂正ス

明治三十三年十月二十四日

和歌山縣知事

小倉

久

和歌山縣和歌山市畑屋敷馬木丁九番地

笹川 五

○和歌山縣告示第九十六號

和歌山市參事會ヨリ申請ニ係ル下水路溝渠改築事業準備ノ爲メ左記市町村ニ立入ルヘキヲ許可セリ

明治三十三年十月廿五日

和歌山縣知事

小倉

久

和歌山市一圓 輪草郡蔭村大字湊、岡町村大字岡町、宮村大字太田黒田新内吉田中ノ島村宮前村大字手平雜賀村大字字須

○和歌山縣告示第九十七號

紀ノ川筋ヨリ和歌山市内ヘ分水事業準備ノ爲メ左記ノ市町村ニ立入リ測量ヲ施行ス

明治三十三年十月廿五日

和歌山縣知事

小倉

久

一和歌山市一圓

一梅草郡中ノ島村 有功村大字蘭部 楠見村大字別所同村大字粟 野崎村大字北島同村大字福島

○和歌山縣告示第百九十八號

岩出瀧種検査所閉鎖期日本年十一月十日迄延期ス

明治三十三年十月廿七日

和歌山縣知事

椿 兼 一 郎

○和歌山縣告示第百九十九號

度量衡取締主任之証 第四二四號壹葉

但東牟婁郡大島村長へ交付ノ分

右紛失ノ旨届出ニ依リ無効トス

明治三十三年十月廿七日

和歌山縣知事

椿 兼 一 郎

○和歌山縣告示第二百號

度量衡取締主任之証 第一六五號貳葉

但那賀郡猿川村長へ交付ノ分

右紛失ノ旨届出ニ依リ無効トス

明治三十三年十月三十日

和歌山縣知事

椿 兼 一 郎

○和歌山縣告示第二百一號

明治三十三年十月和歌山縣告示第百九十七號測量區域へ左記ノ町村ヲ追加ス

明治三十三年十月三十日

和歌山縣知事

椿 兼 一 郎

明治三十三年十一月四日

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
北富田村役場	南富田村役場	西富田村役場	東富田村役場	生馬村役場	岩田村役場	朝來村役場	新庄村役場	三栖村役場	万呂村役場	下秋津村役場	下芳養村役場	中芳養村役場	稻成村役場	西ノ谷村役場	西牟婁郡漆村役場	名田村役場	印南町役場	

全

瀬戸鉛山村役場

日高郡西牟婁郡ニ於テ二化及三化螟虫發生シ殊ニ恐ルヘキ三化螟虫ノ發生甚シキヲ以テ其
町村内田作人ニ對シ別紙ノ通り驅除豫防ヲ命シタルニ依リ違犯者ハ明治二十九年法律第十
七號ノ制裁ヲ受ケサルヲ得サル義ニ付其違犯者ハ勿論怠慢者ヲ生セサル操豫ノ嚴重取締ヲ
爲スヘシ

明治三十三年十月廿七日

和歌山縣知事

椿 藁 一 郎

令内第三十二號

何 郡 何 町 村 田 作 人

其町村内稻田ニ二化及三化螟虫發生ニ付明治二十九年三月二十四日法律第十七號害蟲驅除
豫防法及明治三十年二月十七日日本縣令第二十二號害蟲驅除豫防法施行規則ニ基キ左ノ方法
及期限ニ従ヒ本月三十日ヨリ驅除豫防ヲ爲スコトヲ命ス

害蟲驅除豫防方法中稻株ノ處理及点火誘殺ハ一町村若シハ一大字一齊ニ之ヲ施行シ其施行
前所轄郡長ニ報告スヘシ其施行未済ノモノニアリテハ耕耘及作付ヲ爲スコトヲ得ス

明治三十三年十月二十七日

和歌山縣知事

椿 藁 一 郎

害蟲驅除豫防法

一、稻株ノ處理ハ左ノ各項ニ依リ本年十二月卅一日迄ニ之ヲ終了スベシ

一 被害地ノ株ハ乾田ニ在テハ堀取り之ヲ集メ燒棄シ濕田ニ在テハ株ヲ踏込ム事

但此命令施行前ニ於テ既ニ鋤返シ及耕耘ヲ爲シタル地ニアル株ハ総テ之ヲ收集シ燒棄

大ルコト

二被害ノ少ナキ處ハ被害アル(坪枯レ)部分ヲ殘シ其他ノ部分ヲ蒔リ后ヲ被害アル部分ノ藁及株ヲ燒棄スルヲ

三早稻ハ蒔株ヲ檢シ蟲ノ存在ヲ認ムル時ハ右ノ處理ヲ行フベシ

二、藁ノ處理及使用ニ付テハ左ノ各項ニ依テ之ヲ行フベシ

一被害藁ヲ堆積肥料トナサントスル時ハ之ヲ牛馬ニ踏マシメ堆積シタル后三回打返シ來年五月以後ニ殘サ、ル櫟處置スヘシ

但打敲キ殺虫シタル藁ヲ用ユル場合ハ此限ニ在ラス

二蓆及俵ニ用ユル藁ハ殺虫法ヲ施シタルモノニアラザレハ用ユルコトヲ得ス

三屋根萱藁ハ本年度ノ藁ヲ用ユルヲ得ス若シ用ユル場合ニハ來年七月一日以後ニ於テスルコト

四藁ヲ用ヒテ牛馬ニ踏マサ、ル堆積肥料ハ其周圍ニ藁ヲ置キ其藁ヲ時々燒棄スヘシ

五本年蒔入藁ヲ本年度ニ用ユル場合ニハ蒸殺法ヲ行フ事

六來年五月以後ニ殘シ置ク藁ハ四月一日ヨリ六月卅日ニ至ル三ヶ月間蛾ノ外ニ飛ハサル櫟密閉シ置クヲ要ス七月以後ハ用ユルモ妨ケナシ

七素藁ヲ麥ノ中入レニ用ユルヲ禁ズ若シ用ユル場合ニハ熱湯ニ浸シタルモノ或ハ能ク打サタ、キ殺虫シタルモノヲ用ユベシ

八藁ヲ「クリ」ニ掛ケタルモノハ以上ノ方法ヲ用ユルニ及ハス何等ニ用ユルモ妨ケナシ

九、藪ノ叢以下ヲ切捨テ燒棄シタルトキハ何レニ用ユルモ差支ナシ
但三化螟
虫ニ限ル

三、苗代ハ特巾四尺トシ短冊形ニ仕立テ成ルヘシ共同施設スヘシ
四、苗床ニ於テ左ノ各項ニ依リ点火誘殺ヲ行フヘシ

一、苗代一畝歩ニ付誘蛾燈一個ヲ用ユル事一畝歩未滿ノモノ亦全シ

二、誘蛾燈ノ位置ハ稻ノ葉先凡七八寸ノ高サトスル事

三、家屋内ニ發生スル蛾ヲ豫防スル爲メ誘蛾燈ハ必ス家屋ノ近傍ニ一個ヲ設ケ田面ニ行ク
モノヲ防クヘシ

四、四月下旬ヨリ豫察燈ヲ設ケ螟蛾ノ發生ヲ豫察スヘシ

五、苗床及本田ニ於テハ五日毎ニ必ス一回以上探卵スヘシ

六、本田ニ於テ穂ノ開花后枯穂ヲ最下部ヨリ切取り燒棄スヘシ

○和歌山縣訓令甲第百一號

有	日	同	同	同	同	西牟婁郡三川村役場
田	高	各	各	各	各	
各	郡	郡	分	町	村	
役	警	署	署	役	役	
所	察	署	署	場	場	

陸軍召集條例第四條第二項及海軍召集條例第四條第二項ニ依リ左記日割ノ適當縣屬ヲシテ
其官衙并公署ニ於ル陸海軍召集事務ノ整否ヲ検査セシムヘキニ付召集準備書類悉皆携帶ノ

上指定ノ當日午前九時迄ニ検査場へ出張スヘシ

但巡查駐在所派出所ニ於ケル召集事務ノ整否ハ其所轄警察署長同分署長ニ於テ便宜検査
シ不都合ナカラシムヘシ

明治三十三年十月三十一日

和歌山縣知事

椿 兼 一 郎

検査月日

検査場

官 衙 公 署

(町村ノ下ニ
役場ヲ零ス)

十一月十日 有山郡役所

有田郡役所 有田郡警察署 宮崎分署 鳥屋城分署 八幡分署
湯淺町 廣 村 南廣村 宮崎村

同 十一日 同

宮原村 系我村 保田村 田栖川村 津木村
藤並村 鳥屋城村 田殿村 岩倉村

同 十二日 同

五西月村 石垣村 御靈村 生石村 安謔村
五 村 城山村 八幡村

同 十四日 日高郡役所

日高郡役所 日高郡警察署 由良分署 御坊町 鹽屋村
松原村 和田村 由良村 野口村 東内原村

同 十五日 同

西内原村 稻原村 矢田村 丹生村 湯川村
川上村 川中村 白崎村 藤田村 印南町

同 十六日 同

眞妻村 志賀村 三尾村 名田村 比井崎村
衣奈村 早蘇村 寒川村 船着村

同 十八日 南部分署

南部分署 上山路分署 切目村 上南部分署 切目川村
岩代村 清川村 南部町

縣報第貳拾壹號

明治三十三年十一月四日

十終

同 十九日 同

〔上山路村 中山路村 下山路村 龍神村 高城村
西牟婁郡三川村〕

明治三十三年 八月三日 第三種郵便物認可 (每月四日十四日廿四日三回發行)

明治三十三年十一月三日
明治三十三年十一月四日發行

〔壹頁代價金
壹圓五毛〕

和歌山縣

印刷人

和歌山市九番丁九番地
引次町前川初之助
前地